

## ジミー・カーター、安らかに眠れ

第39代アメリカ合衆国大統領のジミー・カーター氏が先週末、100歳で逝去しました。100歳まで生きた大統領はカーター氏だけです。

カーター氏が勝利した1976年の大統領選は、まるで別の国で起こった出来事のように思えます。民主党はバージニア州を除く南部連合の全州を制覇しました。共和党のジェラルド・フォード候補は、イリノイ州、バーモント州、コネチカット州、ニュー・ジャージー州、カリフォルニア州、オレゴン州、ワシントン州を含む多くの州で勝利を収めました。（信じられないなら調べてみてください！）

多くの政治的・経済的保守派は、カーター大統領の在任期を経済政策の失政、高インフレ、不況と結びつけていますが、その政策選択と経験は、彼の政権だけのものではありませんでした。

たしかにインフレはカーター政権下で2桁を記録しましたが、それはニクソン政権でも同様でした。カーター氏は銀行システムに信用規制を課してインフレと戦おうとしましたが、ニクソン政権はインフレに対処するために賃金と物価の規制を課しました。

そして、カーター大統領が連邦準備制度理事会（連銀、FRB）のトップに最初に選んだのは、金融政策やインフレ対策に特別な見識のない弁護士、G・ウィリアム・ミラーでした。彼はインフレを抑制し、後にレーガン大統領によって再任されました。ニクソン氏の連銀総裁はアーサー・バーンズ氏で、彼は学者時代には金融引き締めを支持していましたが、連銀を運営する際には、金融緩和を望むニクソン氏の意向をなだめるために身を屈めました。

その一方で、カーター大統領は多くの特別利害関係者の経済的聖域を奪い、アメリカ経済の主要部分の規制緩和を進んで行いました。信じられないかもしれませんが、カーター氏以前は、首都ワシントンDCの民間航空局（CAB）の官僚たちが、どの航空会社のどの座席の航空券の値段も決めていました。また、彼らはどの航空会社がどの路線を飛ぶかも管理し、航空会社が競争するために食事や座席タイプなどのアメニティを使用することだけを許可しました。そのため、当時の航空券は高価で、中流層以下の人々は中々手の届かないものでした。

カーター大統領は規制を嫌うアルフレッド・カーン氏をインフレ担当長官に任命しました。ほとんどの人は覚えていないでしょうが、カーン氏は今日のイーロン・マスクのような避雷針でした。彼は率直で、「不況」について話すようになったので、それを「バナナ」と呼ぶようになりました。するとバナナ業界が怒ったので、彼は次に不況を「キンカン」と呼びました。これはツイッターやXなど、現在のソーシャル・メディアが存在する以前の出来事でした。

カーン氏は辞任しようとしたのですが、カーター氏はそれを許さず、彼をCABのトップに任命しました。カーン氏はワシントンDCの史上、政府機関を引き継ぎ、それを解体した唯一の長官です。その後、民間航空局はなくなり、航空規制緩和はカーン氏とカーター大統領のおかげで実現しました。

カーター政権はトラック輸送の規制緩和も主導しました。カーター大統領以前は、ある州から荷物を積んで出発し、他の州に配送するトラックは、次の往復をする前に元の州に空荷で戻る必要がありました。（これは実話であり、作り話ではありません！）

さらにカーター政権は、鉄道の料金設定を規制緩和し、長距離電話サービスの制限を撤廃するための闘いを主導しました。ご年配の読者なら、友人や親戚と長距離電話をするとき、料金が高つくから早くしなさいと親に言われたことを覚えているでしょう！

カーター時代は概して、部族政治によって左派が自由市場を信用できなくなる前の出来事でした。多くの分野における規制緩和に加え、カーター氏はキャピタル・ゲイン税率の引き下げを提唱し、事実上、長期利益に対する最高税率をそれまでの35%から28%に引き下げました。その後、レーガン大統領が数年間20%に引き下げましたが、カーター氏が最初に引き下げたのです。

今日、最大の経済的課題は1970年代後半とは異なっているが、カーター大統領を偲び、ワシントンDCの政治家たちにあの時代に思いを馳せることを提案したいと思います。歴史に学ぶことは重要です。産業を規制緩和することで、アメリカ国民はより低価格でより多くの選択肢を得ることができました。今日のアメリカ経済は、リポート人に千本の糸で縛られたガリバーのようです。その糸を切り始めたのがカーター大統領でした。

もう一度やりましょう。

情報提供のみを目的としています。投資家向けではありません。ここに掲載されている情報は、投資活動への招待、申し出、勧誘、推奨を意味するものではありません。

コンセンサス予測はブルームバーグ社が提供するものです。このレポートは、First Trust Advisors L.P.によって作成されたものであり、著者の意見を反映したものです。正確かつ信頼できる情報源とデータに基づいたものです。意見および将来の見通しに関する記述は、予告なしに変更される場合があります。この情報は、証券の売買の勧誘または売り出しを目的とするものではありません。

発表日時 (米国中部時間)	米国経済指標	コンセンサ ス	ファースト トラスト予測	発表結果	前回
12-30 / 8:45 am	シカゴ購買部協会景気指数 - 12 月	43.0	<b>41.9</b>	<b>36.9</b>	40.2
1-2 / 7:30 am	新規失業保険申請者数 - 12 月 28 日	222,000	<b>223,000</b>		219,000
9:00 am	建設支出 - 11 月	+0.3%	<b>+0.3%</b>		+0.4%
1-3 / 9:00 am	ISM 指数 - 12 月	48.2	<b>48.3</b>		48.4
午後	自動車/トラック総売上げ - 12 月	16.5 百万	<b>16.5 百万</b>		16.5 百万
午後	自動車/トラック国内売上げ - 12 月	12.8 百万	<b>12.8 百万</b>		12.8 百万

情報提供のみを目的としています。投資家向けではありません。ここに掲載されている情報は、投資活動への招待、申し出、勧誘、推奨を意味するものではありません。

コンセンサス予測はブルームバーグ社が提供するものです。このレポートは、First Trust Advisors L.P.によって作成されたものであり、著者の意見を反映したものです。正確且つ信頼できる情報源とデータに基づいたものです。意見および将来の見通しに関する記述は、予告なしに変更される場合があります。この情報は、証券の売買の勧誘または売り出しを目的とするものではありません。